

# Daily Report (号外)

## ～2019年9月の米国雇用統計について～

### 結果概要

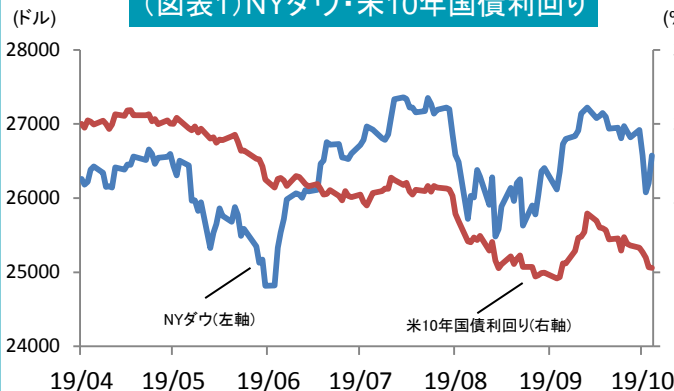
米国労働省が10月4日に発表した9月の雇用統計は、雇用環境の底堅さを示す内容となりました。非農業部門雇用者数の伸びは、前月比+13.6万人と市場予想(Bloomberg調査、以下同様)の+14.5万人を下回る結果となりましたが、7月分と8月分があわせて4.5万人上方修正されました。また、失業率は3.5%と前月(3.7%)から低下し、1969年以来50年ぶりの低水準となった一方で、平均時給は前年同月比+2.9%と市場予想の同+3.2%を下回るとともに、14ヶ月ぶりに2%台の伸びに落ち込みました。

### 市場の反応

米国株式市場は、10月1日にISM(米供給管理協会)が発表した製造業景況指数が10年3ヶ月ぶりの低い水準だったことに加え、2日に発表されたADP雇用統計が伸び悩んだことで、製造業の低迷が雇用の悪化、ひいては個人消費の減速につながるとの懸念が高まり、NYダウ(ダウ・ジョーンズ工業株価平均)が10月1日-2日の2日間で約838米ドルの大幅下落となりました。

米景気後退懸念が浮上するなか、4日に発表された雇用統計については、警戒したほど悪くないとの見方が広がったことから、概ねリスクオフの反応となりました。雇用統計の結果を受けて、米国の景気後退懸念が和らいだ一方で、賃金の伸び鈍化を受けて追加利下げの観測が高まったことから、NYダウは続伸し、前日比373米ドル高で終了しました。10年国債利回りは前日と同じ1.53%近辺で引けました(図表1)。米ドル/円も前日からほぼ横這いの推移となりました(図表2)。

(図表1) NYダウ・米10年国債利回り



(図表2) ドル/円



### 今後に対する弊社評価

今回の雇用統計は、先んじて発表された9月分のISM指数の悪化により米景気後退懸念が一段と強まっていたことから注目されていましたが、過去修正分を含めて見た場合の雇用増や50年ぶりの低水準となった失業率など、警戒したほど悪くない内容との見方から景気に対する過度の懸念は後退しました。当面はこれまで景気を牽引してきた米国の個人消費頭打ちへの懸念は燻る一方で、賃金の伸び鈍化により物価上昇圧力が低下するとの思惑から、米連邦準備理事会(FRB)による追加利下げ期待とそれに伴う市場金利の低下が期待できると考えます。今後の株式市場は景気後退懸念が重石になるものの、利下げ期待が下値を支える形で、当面は概ねレンジ圏で推移するものと見ています。

# Daily Report(号外)

## (ご参考) 主要業種別雇用者数増減(前月比・万人)

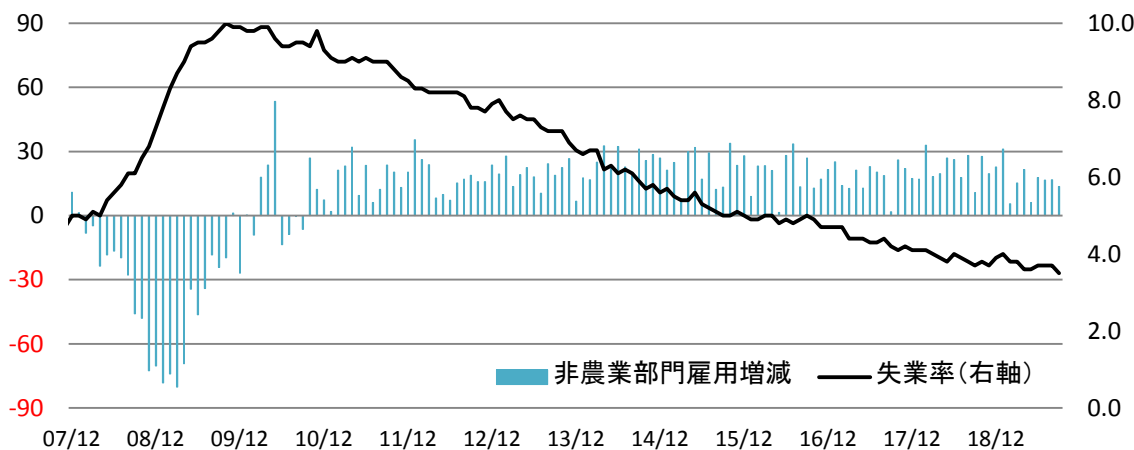
出所: 米国労働省

	19/4	19/5	19/6	19/7	19/8	19/9
非農業部門	21.6	6.2	17.8	16.6	16.8	13.6
鉱工業部門	3.7	0.5	2.7	-0.4	0.1	0.5
建設業	3.4	0.1	1.9	-0.3	0.4	0.7
製造業	0.3	0.2	1.0	0.4	0.2	-0.2
資源・鉱業	0.0	0.2	-0.2	-0.5	-0.5	0.0
サービス部門	15.8	7.6	13.4	12.6	12.1	10.9
卸売業	0.8	0.5	-0.1	0.5	0.0	0.2
小売業	-1.5	-1.2	-1.2	-0.2	-0.6	-1.1
輸送・倉庫業	0.8	0.3	2.0	-0.1	-0.4	1.6
情報	-0.6	0.9	1.3	-0.2	0.2	0.9
金融	1.4	0.5	0.3	1.9	1.5	0.3
専門・ビジネスサービス業	5.5	2.1	4.3	3.7	4.3	3.4
人材派遣業	0.4	-0.2	-0.3	-1.1	1.5	1.0
教育・保険業	7.1	3.4	4.8	7.6	5.6	4.0
娯楽・接客業	0.9	1.2	0.4	-1.3	0.9	2.1
その他	0.9	0.0	1.9	1.7	-0.8	-1.5
政府部門	2.1	-1.9	1.7	4.4	4.6	2.2
失業率(%)	3.6	3.6	3.7	3.7	3.7	3.5
平均時給(前年比、%)	3.2	3.1	3.2	3.2	3.2	2.9

## (ご参考) 非農業部門雇用者数増減と失業率の推移

(前月比、万人)

(%)



(期間)2007年12月~2019年9月

(出所)Bloomberg

## (ご参考) 今後の主要イベント

	日本	米国	欧州
10月	30-31日: 日銀金融政策決定会合	29-30日: FOMC	中旬: EU各国の20年予算提出期限 17-18日: EU首脳会談 24日: ECB政策理事会 31日: ドラギECB総裁任期
12月	18-19日: 日銀金融政策決定会合	10-11日: FOMC	12日: ECB政策理事会 12-13日: EU首脳会談

(出所)Bloomberg